

## 平成23年度 第1回 環境水理部会 議事録

時間：平成23年9月7日（水） 12:00～14:20

場所：愛媛大学 教育学部本館 1F 102 号室

出席者（敬称略）：二瓶泰雄，竹林洋史，赤松良久，堀田哲夫，藤野毅，宮本仁志，矢野真一郎，井上徹教，長尾正之，今村正裕，安田浩保，齋田倫範（順不同）

## 【報告事項】

## 1. 環境水理部会の現部会員について（二瓶部会長）

部会員の継続希望者は25名，退会希望者は8名であった。また，継続希望者の今後の活動要望のアンケート結果が添付資料1を基に説明された。

## 2. 水工学委員会（H23.7.28開催）報告（二瓶部会長）

資料に基づき，平成23年度第1回水工学委員会の報告がなされた。環境水理部会に関連する事項として，次回のアゲールシンポジウムについては環境水理部会として特に対応を求められていないことが確認された。

## 3. H23年度研究集会（鳥取）の会計報告（矢島委員，代理：二瓶部会長）

矢島委員が作成した資料に基づき，研究集会2011 in 鳥取の参加者（部会員13名，一般25名）ならびに運営経費の収支が報告された。

## 4. 部会全体の予算について（二瓶部会長）

部会予算としては，昨年度は収入・支出共に0であり，部会開催時のお弁当代も自費であったが，今年度はこのお弁当代は学会負担となっている。また，今年度の予算（収入）は未定であるため，当面は予算がないことを前提として活動計画を立てることが確認された。

## 5. WG活動報告（二瓶部会長）

これまで設立されていた以下のWGの活動は行われていないことが報告された。

- ・ 海域を含む流域圏の栄養塩動態
- ・ ウォッシュロードを軸にした流域環境評価
- ・ 流砂系土砂管理における貯水池土砂管理
- ・ 物理環境評価と生物環境評価の結合
- ・ 地球温暖化が流域環境におよぼす影響
- ・ 環境水理に関するフィールド計測技術の開発と応用

## 【審議事項】

## 1. 環境水理部会の内規について

二瓶部会長より環境水理部会内規（案）が示され，意見収集が行われた。部会での意見を反映させた修正案を基にメール審議を行い，3月を目途に最終的な内規（案）を確定させることとなった（添付資料2）。部会における主要な意見と対応方針は以下のとおりである。

- ・ 第2条：環境水理学の定義に関する文言については，新規に設立される「教科書WG」で審議し

て詰めていく。

- ・ 第4条（7）：オブザーバー対象者は元部会員および部会の活動に興味がある若手とする。オブザーバー候補を取りまとめた上でメール審議を行い、最終決定する。
- ・ 第5条～8条：WGメンバーは“設置目的に照らして適切と判断される”という趣旨から、土木学会員以外や学生であっても参画可とする。ただし、WGリーダーは部会員から選出する。

## 2. 河川部会交流委員の交代

宮本委員から重枝委員への河川部会交流委員の交代が承認された。河川部会の泉部会長には宮本委員が連絡することとなった。

## 3. 部会員の補充について

現行では大学所属の部会員が多いことから、今後の部会員の補充に際しては、産官学のバランスを考慮し、現状よりも国・独法と民間の部会員を増員することとなった。また、部会員候補者について意見交換し、今後、部会長・幹事で検討し、メール審議を行っていくことを確認した。

## 4. これまでのWGの活動継続について

現在のWG活動は白紙に戻し、活動は継続しないこととなった。

## 5. 研究集会の体制・次年度の研究集会

これまでの研究集会における現地見学と研究発表を泊りがけで行うこと、という体制については問題ないことを確認した。また、矢野委員から提出された2012年の研究集会（案）（開催地：熊本県水俣市、または熊本・八代周辺）が承認された。開催時期としては、5月下旬を第一案とすることで了承された。詳細な日程についてはメールにて審議することとなった。

## 6. 今後の活動

### 1) 教科書作成WGについて（添付資料3参照）

「環境水理学」の教科書作成を目的としたWGを設立することが提案され、了承された。WGリーダーを二瓶部会長とし、確定したメンバーは竹林幹事、赤松幹事、矢野委員、井上委員、今村委員であり、今後も増員する予定である。また、竹林委員より出版方法案について説明され、この教科書を土木学会から出版するのが妥当であり、今後、2012年9月に出版委員会へ申請、2013年度に出版というスケジュール案が提示され、そのスケジュールで基本的に進めていくことが了承された。

### 2) 流域圏WG（添付資料4参照）

これまでの流域圏シンポジウムを含めた環境水理学に関わるシンポジウムの企画・開催を目的としたWGを設立することが提案され、了承された。本WGリーダーを赤松幹事とすることが了承され、今後、WGメンバーを確定する予定である。また、次回流域圏シンポジウムを2011年12月15日に開催する予定であり、その詳細が配布資料を基に説明された。

## 【その他】

### 1. 委嘱状について

これまでは希望者のみに委嘱状を出していたが、今年度以降は全部会員に委嘱状を出すことが確認された。

以上